

られて居るやうでございしますが 18 番と云ふのは 1,500°C になりますから、さう云ふ温度に焼いて呉れと仰しやつて、仕様書に斯う云ふことを御書きになりましたもそれは其の温度に上げて呉れるやら、而も長く置いて呉れるやら分らぬのでありますから、比重の方を御書きになつた方が宜いと思ひます。所が其の比重も學者に言はせれば當にならぬと言はれる方もある。併し先に陳べた比重も考へ耐火度も考へれば先づ宜からうと思て居ります。要するに或程度迄煉瓦屋の信用問題になつて來やせぬかと思ふのであります。一爐でも澤山の噸數でありますから、それが全部相當皆注意して熱を上げて呉れて居るや否やと云ふことは、私共まだ若い時分に自分で仕

様書を拵へて、外國なんかの方はどうも致し方がありませぬけれども内地の方の製造方法を見たり、監督したりしたことはありますけれども、不完全ですから來た品物に付て試験すると言つても分りませぬ、又使て見て好ければ宜いやうなことになつてしまつても何ですか、まあ追々今委員會で拵へつゝありますから、其の内又相當のものをお目に掛けることが出来るかも知れませぬと思て居ります。

○渡邊 三郎君 外に御質問になる方はございませぬか……それでは講演者に拍手を以て御禮申上げたいと思ひます。(拍手起る)

## 鐵 鋼 の 生 産 配 給

(昭和 14 年 2 月 28 日 日本鐵鋼協會講演會)

小 川 彌 太 郎\*

### 緒 言

只今御紹介を受けました小川彌太郎でございします。表題には鐵鋼の生産配給となつて居りますが、結局私が申上げますことは、鐵鋼の生産配給の統制に付てと云ふやうな意味で御聴取りを願ひたいと思ひます。

私が丁度此の鐵の方の生産配給の統制機關であります日本鋼材聯合會の専務委員を致して居りますと云ふ關係で恐らく私に講演御依頼があつたことと考へます。従て統制の現状に付て御報告を申上げることが差當り私の要務と考へます。餘り廣く御考を願ひたくないと思ひます。

どうも雑務に追はれて居りますので、充分準備も致しませぬが、此の會には鐵鋼協會の權威者も御出でになりますし、殊に我々の統制に關する先輩、寧ろ先生としての今泉博士の如き方も御顔を並べて居られますので、統制問題を説明するのは鳥澁がましいやうな氣が致しまして、憚るのであります。併し兎に角今日の鐵鋼の配給統制、生産統制を御世話を致して居ります立場で、最近の狀況、又どう云ふ考へ方をしてやつて居るかと思ふことに付て、暫く御話をさして戴きたいと考へます。

鐵鋼の統制をしなければならぬこと即其の必要性自體に付きましては、既に一般常識となつて居りますので今回私が一々此處で申上げる必要はないと考へて居ります。私共が統制の仕事を始めました一昨年か昨年か掛けては、實はなぜ鐵を統制しなければならぬか、何故に鐵の生

産や、配給、販賣を統制しなければならぬかと不満の聲が非常に起たのであります。さうして或方面からは可なり痛烈なる反對を受けたのであります。従て其の當時は、先以て統制の必要と云ふことを説明をしなければならなかつた。従て其頃は方々で御招きを受けまして講演致しますのも、實は其の三分の二は統制の必要性を力説強調致しました。處が時局に對する事情が皆さんに徹底致しました今日では、統制の必要なんと思ふことを今説くのは却ておかしき位で、寧ろ常識になりました。従て本夕は此點に付ては全然削除致した方が宜しいと考へます。唯此處で申上げますことは遺憾ながら數字に基いては何にも申上げられませぬ今日の時代でありますから、數字問題は絶対に發表出來ぬことになつて居ります。是だけはどうも残念ながら申上げられないのであります。それだけ皆さんとしましては一番興味が薄いのぢやないかと思ひます。殊に技術關係の方の多い皆さんに對しまして、數字を申上げられないと思ふことは、私も一番話し甲斐がございませぬし、皆さんも御聴きになりまして、甚だ興味が少いことと考へて居りまして、残念に思ひます。是だけは豫め御許しを願ひたいと思ひます。同時に鐵の仕事をしておいでになります皆さんと致しましては、製鐵業が今日如何なる地位に在るかと思ふことは、是も御承知のこととあります。この點も一切觸れませぬ積りであります。唯一番初に申上げて置きますことは、私共が統制をやります際の心構へと云ふものに付きまして、誤解がありがちでありますから、特に之を一言申上げて置きます。

\* 日本鋼材聯合會事務委員商工省専門委員

と申しますのは、統制は所謂角を矯めて牛を殺す結果となり、濫りに業界の進歩を阻害するのであると云ふ聲を屢々聞くのであります。又それを私共は非常に恐れるのであります。さう云ふ意味で私共が一番心配するのは、統制の爲にイニシアティブを何とか阻害したくない、イニシアティブを保たせながら統制をしたい。イニシアティブを根本的に殺して何も彼も皆単一にすると云ふならば、我々は何も苦勞しない。各個のイニシアティブを充分發揮させながら、其處に統制をしたい。此點が一番統制の技術的にむづかしい點であります。それは私共は四六時中頭から去らせずにやらなければならぬ。處が動もすると、統制の爲に縛り上げてしまひまして、各個のイニシアティブがなくなつてしまふ。或はイニシアティブを發揮する機會がなくなると云ふ虞があると云ふやうな結果を招きます。統制をやる考へ方では兎角、統制の爲に統制をやつて居ると云ふやうな形になり勝ちでありますから、尙更それが弊害として強いのであります。せめて我々の鐵鋼界に於てだけはそれをやりたくないと云ふやうな信念を持って私共は終始やつて居りやすが、如何にせむ、矢張り統制の行過ぎ、或は一時的の便法としまして、イニシアティブを抑へなければならぬ、或は抑へた結果になります場合がありますのを、甚だ残念に考へますが、私は根本的にさう云ふ考へ方を持って居ります點を一つ御諒承を願ひたいと思ひます。

第一に物動計畫と云ふやうなことに付て御説明申上げた方が宜からうと思ひます。此處には、私目撃しますと、物動計畫を非常に能く御承知で、或はそれに參畫しておいでになる方もおいでになるやうであります。又此の方面に充分の御認識のない方もあらうかと云ふことを恐れまして今物動の計畫はどう云ふやり方をして居るかと思ふことを一口申上げたい。それから第二に、種類を申しますが、是も私が考へて居ります統制の種類と云ふやうなものをちよつと擧げて見たい。第三に、生産者の統制分野の決め方、或は現行の統制分野はどう云ふ風になつて居るかと思ふことも概括的に申上げたいと存じます。其の次に、今配給割當と云ふものが行はれて居ります。鐵鋼はそれがどう云ふ風な方法で行はれて居るか、是も一口申上げたいと思ひます。時間がありますかどうか判りませぬが、まあ一應統制のことを申上げた方が宜いと思ひますから、さう云ふことを申上げたいと思ひます。それから生産割當、我々の方で各鋼材の生産割當をして居りますが、其の事情を一口申上げたい。又最後に統制の現在の機構、其の運用全貌を一つ

申上げたいと思ひます。斯う云ふことを考へて居ります。項目は並べて來ましたものの、充分準備して居りませぬから、前後致しますかも知れませぬが、其の點は悪しからず御許しを願ひたいと思ひます。

物動計畫と申しますのは、是は申上ぐる迄もありませんが、大體に於て物の收支豫算を組むことでありませう。一方から見れば物の需給の調整と云ふ問題にもなりませう。物の需給の計畫化と云ふことでもありませう。要するに收支豫算を組むと云ふことであらうと思ひます。是は今企畫院で大綱を決めまして、それを商工省に示し、商工省がそれに對する具體案を拵へて、それを實行に移すと云ふ段取になつて居る様であります。

此の物動計畫で生産計畫とか、消費計畫と云ふものを御立てになりまするが、是がなかなか六ヶ敷いのであります。生産數量と云ふ問題になりますと、生産實數とキャパシティの問題がありますが、今日の日本鋼材の生産キャパシティ、壓延能力、製鋼能力に於きましては、非常に大きいキャパシティを有て居ります。我々は今政府が要求します數量より遙に多くの鋼材を作るキャパシティを有て居りますが、如何にせむ、原料問題があります爲に、それを作り得ず居ります。

當初物動計畫を始められた當時は、資料が充分でありませぬでした。其の爲に可なり企畫院でも商工省でも迷はされたのであります。最近各資料も大分纏まり、經驗も得られまして、相當に立派な物動計畫が出来るやうになつたのであります。原料輸入の問題が一番問題で、物動計畫の根本問題であります。結局日本の勢力範圍で出来る丈け資材を出させ此に資金關係で許される資材輸入を併せたる物を以て生産計畫を建てる。國內資材はいくら急いでもさう急に出るものではなし、結局生産計畫は鐵資材の輸入に振向けられる、輸入資金が最後に影響するのは當然であります。此も同時に一方各方面の鐵の需要の量を各々企畫院に持寄りまして、それを合せまして需給の情勢を調べる。この兩者を見合ひにして需要をミートさせる計畫を立てると云ふことが物動計畫であります。其の計畫を商工省に持て参りまして、商工省で或程度に其實行案を樹てた上で鐵鋼統制協議會と云ふものに諮る。そこで初めて具體案がすつかり纏まると云ふ次第であります。

この需要計畫を立てる事は先程もちよつと溜りの方で申上げたのであります。需要の想定、需要の調査と云ふものが非常にむづかしかった。昨年6月に初めて之をやり

ました時には全く分らなかったのであります。日本には完全細密な需要統計、消費統計と云ふものは未だ完備して居なかつた。鐵の用途を一々追ひつめて行くと内容は極めてアンビグアスなのが多い。全く分らないやうな事情で、鐵が何處でどう云ふ風に使はれて居るかと云ふやうな調査は不充分であります。そこで配給割當にしても、さう一々正確に行く筈もありません。例へば釘にしても建築用に何處、荷造用に何處とはつきり判ては居りません。随分これは誰がやつても六ヶ敷い仕事であります。一方どうしても一般民需は抑へねばならぬ。已を得ず一定の標準を定めてワイヤーロードの生産を決める外ない。

處が實際釘を配給致して見ますと、非常に違て居る。建築用の釘と云ふものは、全體の釘の量から言へば、今ちよつと其の割合を申上げ兼ねますが、思つたより少ない荷造用の釘が案外多かつたのであります。それで必要の荷造用の釘が足りない云ふので、各地から非常な陳情が参たのであります。こんなことは一度配給をして見て初めて判たことで、なかなか當局も苦心された様です。其の爲に商工省も各方面から攻撃を受けまして、初めは随分氣の毒でありました。私共も商工省の手傳をしなから、誠に申譯ないと思居りましたが、資料が充分でありませぬ爲に、さう云ふ間違を起したのであります。幸にして商工省の方が實情に即してどしどし變へて來れましたから、餘程調節をされました。斯う云ふやうな譯で、物動計畫を實行する上に付きましては、随分難關に逢着したのであります。

次に統制の種類と云ふことであります。是は申上げる迄もないと思ひますが、今日私共が考へて居ります統制の種類と云ふのは、生産統制、それから販賣統制、是は或意味で配給統制とも申しますが、それから消費統制、此の三つの方面が主な仕事であります。

生産統制は、必要な資材を必要な時期に作ると云ふことでありませう。販賣統制更に廣く云へば配給統制と云ふのは、作りました品物を販賣します方法を定めて、一定の方法で一定の値段に依て需要者に渡す。斯う云ふ問題であります。斯う云ふやうなことが全部我々の今實際にやつて居る仕事であります。消費統制は、是は勿論主として監督官廳が直接今日監督して居られますが、御承知の通り各消費者の團體が出來まして、團體的に統制を今しつゝあるのであります。是は随分難しい事でありましたが、餘程今日進みまして、形態を整へて参りました。

御承知の通り一昨年からあゝ云ふ風な時局になりまして

一般に廻はず鐵は減さねばならぬことになつて12年の10月の鐵鋼工作物許可規則と云ふものが出來まして、鐵鋼工作物に対する制限をしました。引續いて13年4月に鑄鐵物の統制に関する命令、7月に鋼製品の製造制限に関する命令斯う云ふものが次々に出來まして、使用制限を後から後からと致したのであります。殊に鋼製品の統制、或は鉄鐵の統制の時には、計算機や、扇風機など、可なり小さい方面迄行互て消費統制を致したのであります。併し消費の制限と云ふだけでは到底間に合はないと云ふので、所謂鐵鋼の配給統制規則と云ふものが昨年6月に出來ました此處で初めて需給の調節、適合を計畫的に圖ることが出来る様になりました。今日迄の情勢から見ますと、是は誠に已むを得ない問題でありまして、國民と致しましても、當然之を皆理解し其の統制に従はなければならぬと云ふことが大分徹底した様であります。不自由を感じます方から言ひますると何とか方法はないかと御考になる方もあらうと思ひますが、大勢に於きまして、誠に是は已むを得ない仕事であります。

それから是は少し理論に走りますが、生産者の統制分野の決め方であります。是は此處に渡邊さんのやうに特殊鋼材の統制を世話して居られる方もおありになりますが、統制分野の決め方、是がなかなか混亂するのであります。私は斯う云ふ風な考へ方をして居りました。結局統制分野と云ふものは、品質に依て先づ統制分野を決めるより仕方がない。鐵でも先づ吾々は普通鋼を統制分野として仕事を始めた。其の後に特殊鋼の統制を初めた。そこで特殊鋼と普通鋼と云ふ風に分けられた。是はクオリティーに依たものであります。處が別に考へなければならぬ分野に、プロセスの問題と用途の問題があります。之は必ずしも學理的なものぢやありませぬ。統制の便宜の爲に決めるものであります。今日普通鋼と特殊鋼とは品種別に分野が出來て居ります。處が鑄鋼協議會の統制分野になりますと、是は品質別に對し横斷的に製法別の統制分野となります。併し大體に於きましては品種別が主眼であります。處が今日尙困て居ります問題は、用途別と品種別が喰違て居ります爲に、例へば特殊鋼の鍛造鋼塊と云ふやうなものは品質から言へば、特殊鋼の統制分野に入りますが鍛造と云ふことから言ふと、將來鍛造と云ふものも鑄鋼と同じ様に各品質に亘る横の統制が必要があります。此外今浮上てどちらに入るかと云ふ疑點を持たれるものも出來て居ります。之れは統制の便宜を主眼として統制を段々致します關係上、さう云ふ

ものが段々残るのであります。例へば我々の方でハガネは昨年から鋼材聯合會の方の統制に入れたのでありますが、是も甚だ困たのであります。普通鋼の統制を始めまして、普通鋼の統制の中には當然鋼も入るものと決めて居りましたが、實行が遅れて居りました。其中特殊鋼の統制をやらなければならぬと云ふことになった。さうすると鋼はどうなるか、どっちに入れるかと云ふ問題で、色々研究されたのであります。結局性質から云ても、又製法から云ても、鋼は普通鋼に入るべきものでありますから、普通鋼の分野に入れたのであります。其の中でも亦鋼の中の最硬鋼の或用途のものはどうも之に入れて貰ひたくない。斯う云ふ用途のものはこちらに入れて貰ひたいと云たやうな希望も出るのであります。ですから分野を決めます際に、其の限界が常に問題であります。併し大體に於きまして、只今は品種別の分野になつて居りますので、皆さんの御考としても、特殊鋼はこちら、普通鋼はこちらと云ふことで御考になりますと結構であります。其の間に鑄鋼や鍛鋼だけが横の統制と、斯う御考へ願へば結構であります。

それからもう一つは、今日迄の處生産、販賣、兩統制迄をやつて居りますのは、大體に於て廣義の第一次製品であります。二次的製品のものは入居りませぬ。例へば火造を致しましたものを賣ると云ふやうなことは、まだ販賣統制に迄入居りませぬ。是は追々はそれに及ぶと思ひます。さうすれば、鋼塊が第一次であつて、壓延鋼材が第二次であると云ふ問題が起りませう。壓延鋼材迄を所謂材料と致しまして、材料的なもので機械加工を施して整形品でない此様な品物を第一次製品、として吾々の統制の分野に入れて居ります。

それから現代の統制分野の大系を申し上げますと、是は皆さん充分御承知のこととありますが、鑛石、スクラップ、銑鐵、斯う云ふやうな原料關係があります。續いて普通鋼、特殊鋼、鑄鋼、フェロアロイ、斯う云ふものがあります。鐵關係では鑛石、銑鐵、是は何れも商工省が自ら監督致しまして統制を致して居ります。それからスクラップは、是も商工省が監督指導しながら、御承知の通りに輸入スクラップは共同購買會、國內スクラップは先頃出來ましたる日本鐵屑統制會社がやると云ふことになつて居ります。それから普通鋼の方では、今申し上げました品物を日本鋼材聯合會並に其の統轄下の各種共販に於てやつて居ります。日本鋼材聯合會では生産販賣の統制を全般的にやつて居ります。さうして各種共販で其の各々の共同販賣の統制をや

つて居ります。之を少し細かく申し上げますと、相當うるさいのでありますから、それは省くことと致します。

其の次に配給割當方法であります。此の問題は先程申し掛けたのでありますが、非常に配給割當はむづかしいのであります。大體に於きまして是は分科を設けてありますが、例へば軍需品、國、公共團體鐵道電氣事業、製鐵事業、ガス事業、鑛山業、石油業、土木、造船、機械工業斯う云ふやうな工合に各分科を設けまして、此の時局に對して最も重要である産業、即第一次的に鐵の配給を必要と認められた産業に對して各統制團體を拵へさせてあります。而して鐵は凡て其の分科別に配給割當を受けるのであります。それが初めは非常に荒つぱかつたのであります。例へばレール、厚板、大形物、其の他と云たやうな工合の分け方でありました。處が實際をやつて見ますと、其の他と云ふ部類で殆ど皆鋼材が入ります關係で、生産計畫と配給計畫をミートさせることが、非常にむづかしいのであります。そこで1月からはそれを更に細かく分けて、各鋼材の品種別に皆分けられたのであります。然し細目に分ける程實行上は非常にむづかしい。是は初めての計畫でありますから隨分各方面に不自由を感じられ、相當需要者としては困難致されるかも知れませぬ。それに對して只今實は各品種別の品物の遺繰、アヂヤストを引受けると云ふことに致しまして各統制團體から、必要資材の總數は變りませぬが、其の品種別の遺繰の方を私の方に御申出を願ひ、御申出を願ひましたら、綜合致しまして、全體で私共の生産計畫が變へ得るものは變へまして、其の數量だけの配給を許すと云ふことに今致して居ります。幸にして今回やりましたのは、此の2月20日前後に申出がありました。其の數字から申しますと、丁度宜い所に行つて居ります。或團體では厚板は斯んなに要らない、中山を増して貰ひたい、それから又或團體では中山は斯んなに要らない。厚板を殖やして貰ひたいと云ふ要求が出ました。各團體の申込を纏めて見ますと、さまで大きな生産計畫の變更をさせないで間に合ふやうな結果になりました。そこで今統制團體に對する御希望を全部分けまして、内輪では生産割當の變更を致しまして、それに應ずる態勢を執つて居るのであります。さう云ふやうなことを致しまして、需給のミート率を良くすると云ふやうなことを後から後からと努めて居ります。是はまだなかなか容易にミート率は完全にはいかぬと思ひますが、漸次其の方に進んで居ります。

それから鐵の機構の現状と其の運用、之をちよつと申述

べたいと思ひます。それは御手許に差上げましたパンフレットで一應御覽を願ひたいと思ひます。

此の鐵の統制の沿革と云ふことに付きましては、此處においての先輩の今泉さんが一番御承知の譯であります。がまだ日本の沿革は若いやうであります。日本としては相當の沿革、歴史を持って居るのであります。丁度歐洲大戰直後、詰り大正 14, 5 年頃のあの鐵の非常な不況期を切抜ける爲に出来たのが銑鐵共同販賣で、それが其の後銑鐵共販會社はなつたのであります。或は一方條鋼分野協定會と云ふものが出来て、條鋼の分野協定をしようと云ふ努力をしたのであります。それに續いて關東共販組合と云ふものが出来まして、是は關東に於けるバー・メーカーの共同販賣組合であります。矢張り一種のカルテルであります。さう云ふやうなものが出来て、それぞれ皆其の目的に向て進んだのであります。矢張り時世の變遷に従ひまして、内部の統制が充分でありませぬ。殊にそれは局部的で、例へば銑鐵共販の如きも、其の後一度昭和製鋼と日鐵の關係が切れて全然別になりました。で條鋼分野協定の如きも棚上げになりまして、實行はやれない時代が參たのであります。其の間に於きまして、關東共販組合だけがずっと續いて一昨年迄兎も角共同販賣の組合販賣をやつて居りました。是は勿論努力をして續けたのであります。が是とも是は關東に於ける製鋼業者の而も丸棒だけのカルテルでありました。其の關係で丸棒は成程統制が取れたが、併し外の品物ではちつとも統制が取れない。勝手にあばれて大いに攪亂しようと云ふやうな陰謀も行はれ、又東京と大阪と分れて居るから、東京だけで組合組織で統制を取りましたけれども、大阪では統制が取れて居らぬ。さうすると盛んに大阪のものが東京に来て荒す。それでこちらでは之に對抗する爲に骨が折れる。斯う云ふ問題があつて極めて局部的であつた爲に、何れも完全な統制にならなかつた。然しさう云ふやうな統制騒ぎの内に各メーカーは自然にツレーニングされたのであります。凡そ鐵の販賣統制と云ふものは斯う行くべきものである。斯う云ふ風な行き方をすれば斯う行くものだと思ふやうな一つのツレーニングがされたのであります。其の關東共販のツレーニングと云ふものは、實は一昨年各種の共同販賣組合が出来た一つの母體になつたのであります。斯う云ふやうな大統制と云ふものは一舉にして現れるものではありません。幸にして普通鋼材の方はさう云ふプロセスを踏みました爲に、曲りなりにも、一昨年共販組合を作る時に、此の事態では此處に行

かなければならぬぞと云ふ氣持を皆持ち得たのであります。是が比較的早く鋼材の統制がレールに乗りました一大原因だとも考へるのであります。

一昨年 9 月、10 月に亘りまして、各種製品の共同販賣組合が出来たのであります。御覽の通りに圖表（日本鐵鋼協會發行「鐵鋼關係法規參考資料」100 頁）にございますが、先づ半製品共販、棒鋼共販、形鋼共販、鋼板共販、線材共販、帶鋼共販、斯う云ふやうなものが初め出来たのであります。それと同時に鋼管共販と云ふやうなものを作りまして、又今年の春は薄板、鋳力板の共販も出来まして、是で殆ど凡ゆるバラエティの鋼材の共販、販賣統制が出来たのであります。長年日本の鐵價のフラクチュエーションは可なり激しかつた。日本の鐵價のフラクチュエーション位激しい品物はなかつたのであります。恐らくは世界的に珍しい程、値段が始終高下致したのであります。先月 75 圓して居た品物が、翌月になりますと 100 圓になり、3 月日には 150 圓になると云ふやうな工合に、10 割位の値鞘價額の變動を見たのは珍らしくなかつた。是では需要家は安心して買ふことが出来ないであります。現に私が自分で鐵を買ひまして作りまして時代には、非常に迷惑したのであります。さう云ふやうなことがありますので、鐵價だけは安定させなければならぬと云ふことを絶えず叫んで居りました。其の當時にも皆さんの頭にそれがありました爲に初め出来た當時は總て販賣が主でありました。處が斯う云ふ時局になりまして益々深刻になる關係上、販賣だけでは到底統制は不充分である。先程申上げました生産統制をやるべきである。又更に進んで、消費統制の方の御世話もしなくちやならぬと云ふので、其の後日本鋼材販賣聯合會の販賣と云ふ言葉を取りまして、日本鋼材聯合會と致しました。さうして全般的の統制を此處で取ると思ふことに致したのであります。此の以上の圖表に示してありますやうに、鋼材聯合會は各共販の統轄組合であります。と同時に、是は商工省内に出来て居ります鐵鋼統制協議會のメンバーに入居りまして、その統制協議會で大體の方針が決りましたものに依て我々は實行に移す。斯う云ふ状態でありまして、自治的團體ではあります。今日の情勢としては、國家として鐵は最も重要な品物であるだけに、國家の方針に従て其の統制の事務を遂行して行かなければならぬと云ふやうな大きな役目を鋼材聯合會は負はされて居るのであります。それで只今の物動計畫で決りましたものが需要者の手に

渡りますプロセスと致しまして、概略をもう一遍繰返して言ひますれば、企畫院で決りました生産配給の大綱が其の儘商工省に廻りまして、商工省で具體案が出來ます。具體案が出來たものを此の鐵鋼統制協議會に付議致しまして、此の鐵鋼統制協議會で政府生産者及需要者と三者が寄りまして案を決めるのであります。生産に付きましては、其の案を我々の日本鋼材聯合會に貰ひます。其の貰ひました數字に基きまして、各メーカーに生産の割當をするのであります。さうして生産致しましたものを、共販組合を経て、更に共販組合は、自己の配給機關であります問屋を経て、需要者に廻すのであります。一方配給の方は、商工省で決りました各統制團體への割當數量を各團體に分けてやります。それを各メンバーに更に分割して、其の數量だけの配給證明書、之を俗に切符と申しますが、切符を出すのであります。さうして最後に於て、其の切符と我々が問屋に出しました鐵と引換に配給が完了する。斯う云ふ筋になって居ります。

處が實際は、今の計畫から申しますと云ふと、生産數量と配給數量が大體に於きまして同數になって居ります。是が非常にむづかしい問題であります。セメントなどは100,000t作て100,000t賣ると云ふ計畫が付くのであります。鐵になりますと、品種の違い、寸法の違い等が實に雑多であります關係で、作り出したものが其の儘必ずしも需要に適合しないのであります。詰り需給の適合率が非常にむづかしく、低いのであります。それを只今では、需要者から言へば、もっと欲しいのを切下げられて居る即ち配給量は減て居る。其の爲に、きつちりした生産數量と配給數量が、同じ數量で計畫されて居ります關係で、出會ひませぬ。是が切符が世間に出て居りますが、それに相當する品物がないと云ふことを絶へずお叱言を頂戴する原因であります。大體に於きまして切符の數量だけのものは我々の方は作る計畫を致して居ります。計畫し、又作らして居ります。それは特別の事情に依りまして屑鐵や銑鐵が間に合はぬと云ふので、幾らか生産が思ふ通りにならぬ點もありますが、平均して略と同様作て居るのであります。それに拘らず需要に適合しない。それは私共今手品みたいな仕事をして居るのであります。それは100,000t作て、其の中で丁度必要な寸法が80,000tあると云ふのならまだ宜しいのであります。10,000tに對して必要なものが10,000tでありますから、注文を受けてロールをするのでは間に合ひませぬ。而してロールする寸法はどうかと云ひ

ますと、大體今迄の經驗、或は統計に従ひまして、どれをどれだけと云ふ風に作るのでありますから、需要が其の通り出ませぬ。それで残るのであります。斯う云ふやうな勘定であります。是が今日私共が一番悩んで居る點でありまして、如何にしてミート率を良くするかと云ふことを一番今日の悩みです。切符を出しましても、なかなか切符だけのものが手に入らぬと云ふ原因は多く此處にあるのであります。

此の點に付きましては、特に需要者の方……本夕は需要者よりは寧ろ生産者の方が多いので、實は御説明するのも需要者に申上げる程熱が上らぬのであります。寧ろ御理解願て、御援助願はなければならぬ方が多いと思ひますが私の方で作りました生産割當と云ふものは随分窮屈なものでありまして、各品種別に割當を作りまして、各社に差上げて、之に依て生産をして戴くのであります。是は若し此の中に工場の製作の御擔任の方がおいでになります場合は、どうしてもそれを御嚴守を願ひたいと思ふのであります。實際は原料の關係等で豫定通り出來ない場合があり又豫定以上に出來る場合があります。例へば季節的に7, 8, 9とか云ふ時には、我々が割當てた數量だけを作れない工場が多かつたのであります。其の爲に追馳けられた。併し10, 11, 12此の3月が氣候が好かつた爲に、殆ど回復して、7, 8, 9の生産減になりました數量は、殆ど11, 12でカバーし得たと思ひます。數量的に見ますれば我々の御願ひしただけのものは生産を致し得たやうな状態になって居ります。さう云ふやうなことがあります。何れにしても我々の方から出しました配給生産割當の切符だけは御嚴守を願ひまして其の時に應じて我々の方で更に中間に調節を致します。例へばアングルが少し足りないから、アングルを殖やさう、厚板が餘るから、減さうと云ふ時に、厚板の減産通知、アングルの増産通知と云ふのを出します。成可くそれを一つ御嚴守願ひたいと考へて居ります。

それから此の際特に工場の技術家の方が大變多いやうに御見受け致しますが、現場で鐵を殊に建築材料、或は設備等に御使ひになる方に御願を申し上げたいと思ひますのは是は申上げる迄もないやうなことであります。此の際鐵と云ふものは非常に大事なものであります。一塊の鐵と雖も國家有用の仕事に使て貰はなければならぬのであります。假にも之に對して亂雑な御使ひ方があつては困るのであります。非常に效果的に鐵を御使ひ願ひたいのであります。例へば工場に於きまして、若し不用品等がありま

したら、それを成可く御利用を願ひたいと思ひます。斯う云ふ際でありますから、幾分形の違ふものでも、在り合せ品で間に合ふものなら、使て貰ひたいのであります。特に此の際のことから、御面倒でも、工場建築等は再検討を願ひまして、1tでも、半tでも、危険がない限りは、軽い設計に御考を願ひたい。さう云ふやうなことに付て特別の御努力を願ひたいと考へて居ります。

實は斯う云ふやうな會では、私は寧ろ皆さんの御質問を受けまして、さうして統制上困る點、或は統制の仕方に對して悪い點を伺ひたいと思ひます。もう今日統制の問題は餘り多く説明申し上げませぬでも、色々のパンフレットに澤山出て居りますから、それを御覽願ひますれば、能く御分

りになることとありますから、實は詳しく説明を申し上げたくないのであります。若し申上げれば、消費節約を願ひたいと云ふことを主にして申上げたいのであります。是とも此の會員の御方は其の問題は割合に能く御分りの方でありますから、さう云ふ問題に付て是以上申上げたくないと思ひますが、何かあなたの方でお困りの問題、お叱りを頂戴する問題があれば、是非伺ひたいと思ひます。時間が許しましたならば、御質問なり、或はお叱りの方を先に伺ひたいと考へて居ります。

雜然として思付きの儘を申し上げまして申譯ない次第であります。簡單ながら私の講演は之を以て終ります。

### 鑛石品位と採算

養老の瀧附近で30年も昔に発見した金鑛をゴールドラッシュの今日棄て、おいてはもつたないといふ試掘する人が界にある、造幣局で分析の結果、金の含有量100萬分の5と認定された、ところで金をはじめ銀、鐵、銅、マンガンなどの重要鑛物を含む鑛石はどれぐらゐるの品位含有量があれば採掘精鍊しても採算がとれる？ 大阪鑛山監督局分析課長村瀬竹次郎氏の話をきくと

まづ石英などの金を含んだ鑛石で採算のとれる品位の限界を申しますと精鍊所をもつた大會社では100萬分の3といふところで、北海道にある住友の鴻の舞、鹿児島にある三井の串木、大分の鯛生などの金山ではこの程度の鑛石を採掘して立派に成績をあげておますがいづれも優秀な技術で毎日2,3,000tも大量に採掘精鍊してゐるので採算がとれるわけで、一般に金鑛を発見しても精鍊所などを建設する大資本のないかぎり、精鍊所へ賣込むとなれば採掘、選鑛、運搬などの諸費用を計算に入れる必要があり、これだともづ100萬分の6ないし7ぐらゐるの品位がないと採算はとれないでせう。

ちよつと拾つてきた鑛石を分析して相當な品位を示しても鑛脈の廣さや鑛石を運搬する便、不便も考慮に入れなければなりません、もつとも採鑛熱の盛んになることは國家的に喜ばしいことで、當局でも昨年からは鑛業相談所を設けていろいろな相談にのり、特にいかゞはしいものでなければこちらからもドンドン調査に出かけることにしてゐます。

だいたい重要鑛物を含む鑛石の採算のとれる品位の限界をあげると金鑛=0.003%—0.007% ▲金鑛(砂金)0.001%—0.0015% ▲銀鑛(含銀鉛鑛)0.03%—0.015% ▲銀鑛(銅鑛中)0.01%—0.015% ▲鐵鑛=35%前後 ▲マンガン鑛=30%前後 ▲鉛鑛=2%—5%

(7月10日大朝大阪版)

### 科學審議會第三回總會

不足原料資源の科學的補填に關する方策につき研究中であつた科學審議會はこの程各特別委員會の答申案を得るに至つたので6日午前9時より首相官邸で第三回總會を開催會長平沼首相、副會長青木企畫院總裁以下委員70餘名出席、平沼會長の挨拶後庶務報告並に諮問第一號即ち「不足原料資源の科學的事項に關する方策如何」の第一回答申の各省に於ける實施狀況につき報告があつて議事に入り

第一特別委員會(鐵類)第二特別委員會(金屬類)第三特別委員會(燃料類)第一第二第三特別聯合委員會、第四特別委員會(化學品類)

の各特別委員會の別項の如き第二回答申案につき(本誌雜錄参照) 第一特別委員長代理吉川晴十博士、第二特別委員長渡邊俊雄博士、第三特別委員長大島義清博士、第一、二、三特別委員會聯合委員會主査加藤武夫博士、第四特別委員長田中芳雄博士より夫々審議經過と答申内容を詳細に説明質疑應答の後全會一致で夫々委員長報告通り答申原案を可決午後0時5分散會した

(東朝7月7日夕刊)